

平成26年度
事業報告書

学校法人 平成医療学園

目 次

I. 法人の概要	1
1. 名称・所在地	1
2. 建学の理念	1
3. 沿革	1
4. 設置する学校	2
5. 学生数	2
(1) 入学定員・入学者数等	2
(2) 入学者数の推移	4
(3) 専任教員1人当たりの学生数	5
6. 理事・監事・評議員	6
7. 組織	7
8. 教職員数	8
(1) 教職員数	8
(2) 年齢別専任教員数	8
(3) 職階別専任教員数	9
(4) 専任教員・非常勤教員比率	9
II. 事業の概要	10
1. 基本的な方針	10
2. 事業の実施状況	10
(1) 宝塚医療大学	10
(2) 平成医療学園専門学校	12
(3) 横浜医療専門学校	15
(4) なにわ歯科衛生専門学校	17
(5) 法人本部	18
3. 理事会・評議員会の開催状況	20
4. 学位又は称号	23
(1) 取得可能な学位又は称号	23
(2) 学位授与数及び授与率	24
5. 学生生徒等納付金	24
6. 卒業及び就職等の状況	27
(1) 卒業者数・就職者数・進学者数等	27
(2) 主な就職先	28
7. 国家試験の受験状況	29
8. 退学者数・除籍者数・留年者数・中退率	30
(1) 退学者数	30
(2) 除籍者数	30
(3) 留年者数	30
(4) 中退率	30
9. 社会人学生・留学生・海外派遣学生数	31
(1) 社会人学生数	31
(2) 留学生数	31
(3) 海外派遣学生数	31
III. 財務の概要	32
1. 学校法人会計基準	32
2. 各科目の説明	32
3. 財政運営	35
4. 資金収支計算書	36
5. 消費収支計算書	37
6. 貸借対照表	38
7. 基本金	39
8. 財産目録	40
9. 主な財務比率	42
10. 施設設備の整備状況	42

I. 法人の概要

1 名称・所在地

名 称	学校法人平成医療学園
理 事 長 名	岸野 雅方
所 在 地	〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎7-7-17
電 話 番 号	06-6375-7773
認 可 年 月 日	平成13年 3月 30日 大阪府知事認可 (準学校法人) 平成22年 10月 29日 文部科学大臣認可 (学校法人)

2 建学の理念

学校法人平成医療学園は、平成12年4月に「全国柔整鍼灸協同組合」が母体となり、柔道整復、はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧の施術を行っている治療家たちが、自らの後継者を自らの手で育てようという理念に基づき、厚生省（現厚生労働省）から柔道整復師養成施設の認可を受け、「平成柔道整復専門学院」を開設したことに始まります。

本学園は、「徳義の涵養と人間性尊厳の実践を理念とし、医療人たる社会的責務を自覚せしめ、国際社会に伍して恥じぬ恒心をもつ、有徳の人材を育成する。」を目的として、発足当時から産・学が連携し、社会で必要とされる高度な知識と技術を身に付けた人間性豊かな「次代の医療人」の育成に努めています。

3 沿革

2000(平成12)年 4月	厚生大臣から柔道整復師養成施設の認可を受け、「平成柔道整復専門学院」を開設
2001(平成13)年 4月	大阪府知事から準学校法人の認可を受け、併せて、「平成柔道整復専門学院」を「平成医療学園専門学校」に名称変更
2002(平成14)年 4月	「平成医療学園専門学校」に鍼灸師科を設置
2003(平成15)年 4月	「平成スポーツトレーナー専門学校」開設
2005(平成17)年 4月	「横浜医療専門学院」開設
2006(平成18)年 4月	「平成医療学園専門学校」に東洋療法教員養成学科を設置
2007(平成19)年 4月	「横浜医療専門学院」を「横浜医療専門学校」に名称変更
2009(平成21)年 4月	「大阪産業大学附属歯科衛生士学院専門学校」を学校法人大阪産業大学から経営移管、校名を「なにわ歯科衛生専門学校」に名称変更
2010(平成22)年 3月	「平成スポーツトレーナー専門学校」廃校
2010(平成22)年 10月	文部科学大臣から「宝塚医療大学」設置認可
2011(平成23)年 4月	「宝塚医療大学」開学
2014(平成26)年 4月	「平成医療学園専門学校」に文化・教養専門課程日本語学科を設置

4 設置する学校

(平成27年5月1日現在)

学校名	学校長名	所在地・電話番号	認可年月日
宝塚医療大学 保健医療学部 理学療法学科 柔道整復学科 鍼灸学科	武田 功	〒666-0162 兵庫県宝塚市花屋敷 緑ガ丘1 TEL：072-736-8600	平成22年10月29日
平成医療学園専門学校 医療専門課程 柔道整復師科 鍼灸師科 東洋療法教員養成学科 文化・教養専門課程 日本語学科	石田 武	〒531-0071 大阪府大阪市北区 中津6-10-15 TEL：06-6454-1500	平成13年3月30日
横浜医療専門学校 医療専門課程 柔道整復師科 鍼灸師科	吉田 重光	〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区 金港町9-12 TEL：045-440-1750	平成18年10月20日
なにわ歯科衛生専門学校 医療専門課程 歯科衛生士学科	雫石 聰	〒530-0011 大阪府大阪市北区 大深町2-179 TEL：06-6375-1400	平成20年12月2日

5 学生数

(1) 入学定員・入学者数等

◆ 宝塚医療大学

(平成27年5月1日現在、単位：名)

学科	入学定員	入学者数	収容定員	収容現員	収容定員 充足率
理学療法学科	40	43	160	186	116.3%
柔道整復学科	60	64	240	231	96.3%
鍼灸学科	60	27	240	79	32.9%
合 計	160	134	640	496	77.5%

◆ 平成医療学園専門学校

(平成27年5月1日現在、単位：名)

学科	入学定員	入学者数	収容定員	収容現員	収容定員充足率
柔道整復師科 昼間Ⅰ部	60	52	180	104	57.8%
柔道整復師科 昼間Ⅱ部	60	34	180	113	62.8%
柔道整復師科 夜間Ⅲ部	30	26	90	60	66.7%
鍼灸師科 昼間Ⅰ部	30	26	90	56	62.2%
鍼灸師科 昼間Ⅱ部	30	22	90	75	83.3%
鍼灸師科 夜間Ⅲ部	30	30	90	63	70.0%
東洋療法教員養成学科	10	2	20	4	20.0%
医療専門課程 小計	250	192	740	475	64.2%
日本語学科 医療福祉系1年コース	20	0	20	0	0.0%
日本語学科 進学1.5年コース	20	0	40	0	0.0%
日本語学科 進学2年コース	20	0	40	4	10.0%
文化・教養専門課程 小計	60	0	100	4	4.0%
合 計	310	192	840	479	57.0%

◆ 横浜医療専門学校

(平成27年5月1日現在、単位：名)

学科	入学定員	入学者数	収容定員	収容現員	収容定員充足率
柔道整復師科 昼間	60	55	180	165	91.7%
柔道整復師科 夜間	60	33	180	118	65.6%
鍼灸師科 昼間 (1部)	30	29	90	65	72.2%
鍼灸師科 昼間 (2部)	30	0	90	19	21.1%
鍼灸師科 夜間	60	15	180	42	23.3%
合 計	240	132	720	409	56.8%

◆ なにわ歯科衛生専門学校

(平成27年5月1日現在、単位：名)

学科	入学定員	入学者数	収容定員	収容現員	収容定員充足率
歯科衛生士学科 昼間	72	79	216	221	102.3%
歯科衛生士学科 夜間	36	39	108	109	100.9%
合 計	108	118	324	330	101.9%

(2) 入学者数の推移

◆ 宝塚医療大学

(各年度5月1日現在、単位：名)

学科	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
理学療法学科	51	42	54	43
柔道整復学科	66	60	63	64
鍼灸学科	27	15	13	27
合 計	144	117	130	134

◆ 平成医療学園専門学校

(各年度5月1日現在、単位：名)

学科	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
柔道整復師科	81	111	85	112
鍼灸師科	64	61	51	78
東洋療法教員養成学科	9	1	3	2
日本語学科	—	—	4	0
合 計	154	173	143	192

◆ 横浜医療専門学校

(各年度5月1日現在、単位：名)

学科	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
柔道整復師科	120	112	97	88
鍼灸師科	57	52	42	44
合 計	177	164	139	132

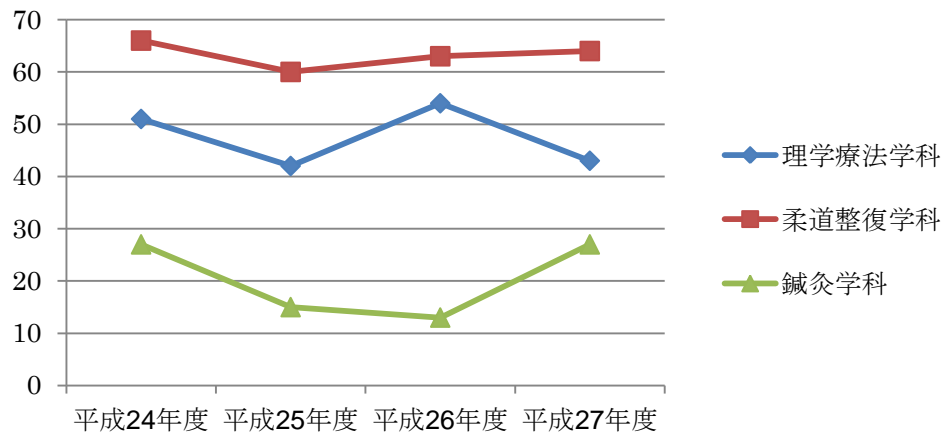
◆ なにわ歯科衛生専門学校

(各年度5月1日現在、単位：名)

学科	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
歯科衛生士学科	79	120	118	118
合 計	79	120	118	118

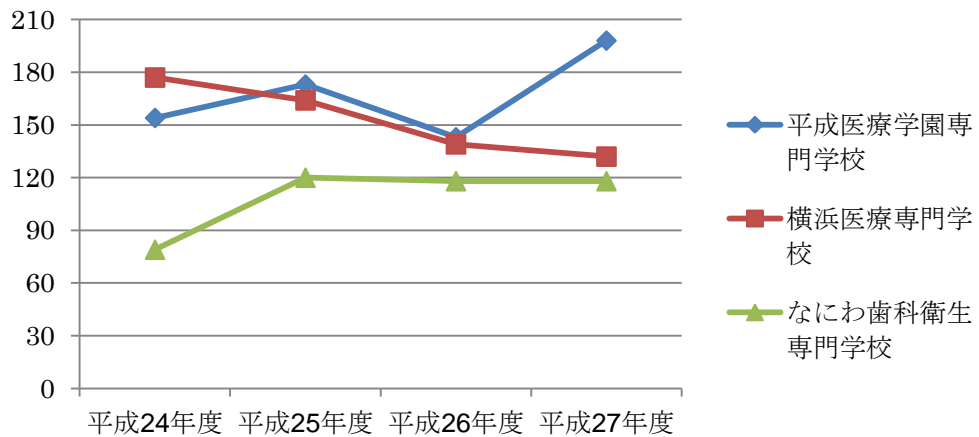
宝塚医療大学 入学者数の推移

(単位：名)



各専門学校 入学者数の推移

(単位：名)



(3) 専任教員1人当たりの学生数

◆ 宝塚医療大学

(平成27年5月1日現在、単位：名)

学科	学生数	専任教員数	専任教員1人当たりの学生数
理学療法学科	186	18	10.3
柔道整復学科	231	17	13.6
鍼灸学科	79	17	4.6
合計	496	52	9.5

(注) 専任教員には助手を含む。

6 理事・監事・評議員

◆ 理事・監事

(平成27年5月1日現在)

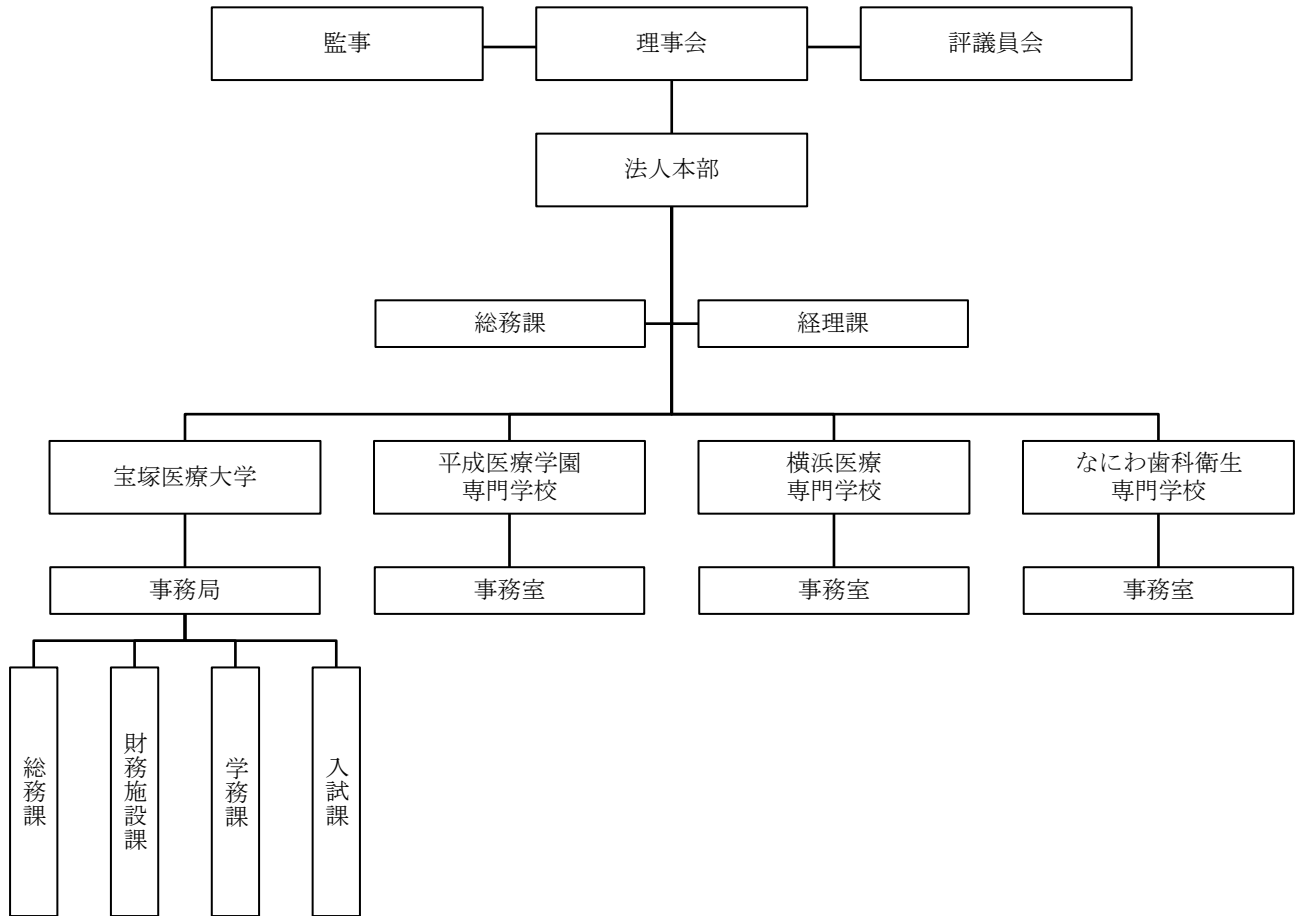
	氏名	就(重)任年月	主な現職等
理事長	岸野 雅方※	平成27年4月	全国柔整鍼灸協同組合理事長 学校法人福寿会理事長
常務理事	岸野 政子※	平成27年4月	
理事	武田 功※	平成27年4月	宝塚医療大学学長
	雫石 聰	平成27年4月	なにわ歯科衛生専門学校校長
	岡田 光司※	平成27年4月	なにわ歯科衛生専門学校顧問
	小原 教孝※	平成27年4月	宝塚医療大学専任教員・統括長
	中谷 裕之※	平成27年4月	平成医療学園専門学校統括長
	浅谷 佐智子	平成27年4月	会社社長
	榊 典夫	平成27年4月	宝塚医療大学専任教員
	土江 直一	平成27年4月	団体職員
	西尾 明憲	平成27年4月	平成医療学園専門学校教員
	松川 保※	平成27年4月	平成医療学園法人事務局長
監事	吉田 明代	平成27年4月	
	相馬 達雄	平成26年3月	弁護士
定数	理事10人以上15人以内、監事2人以上4人以内		

(注) ※印は常任理事会理事。

◆ 評議員

(平成27年5月1日現在)

	氏名	就(重)任年月	氏名	就(重)任年月
評議員	内野 勝郎	平成27年4月	岸野 雅方	平成27年4月
	小原 教孝	平成27年4月	北野 吉廣	平成27年4月
	岸野 佑宣	平成27年4月	榊 典夫	平成27年4月
	雫石 聰	平成27年4月	佐原 道啓	平成27年4月
	高木 保子	平成27年4月	塚原 康夫	平成27年4月
	梶原 知子	平成27年4月	土江 直一	平成27年4月
	清水 公美子	平成27年4月	中谷 裕之	平成27年4月
	竹本 晋史	平成27年4月	西尾 明憲	平成27年4月
	西口 佐智子	平成27年4月	西尾 頼政	平成27年4月
	松本 尚純	平成27年4月	林 康蔵	平成27年4月
	浅谷 佐智子	平成27年4月	松川 保	平成27年4月
	岡田 光司	平成27年4月	丸毛 伊佐子	平成27年4月
	勝浦 政夫	平成27年4月	吉田 洪先	平成27年4月
岸野 政子	平成27年4月			
定数	23人以上31人以内			



8 教職員数

(1) 教職員数

(平成27年5月1日現在、単位：名)

	専任		非常勤者等	
	教員	職員	教員	職員
法人本部	0	10	0	1
宝塚医療大学	52	14	24	7
平成医療学園専門学校	26	15	67	1
横浜医療専門学校	19	13	35	4
なにわ歯科衛生専門学校	14	6	89	1
合計	111	58	215	14

(注) 専任教員には助手を含む。

(2) 年齢別専任教員数

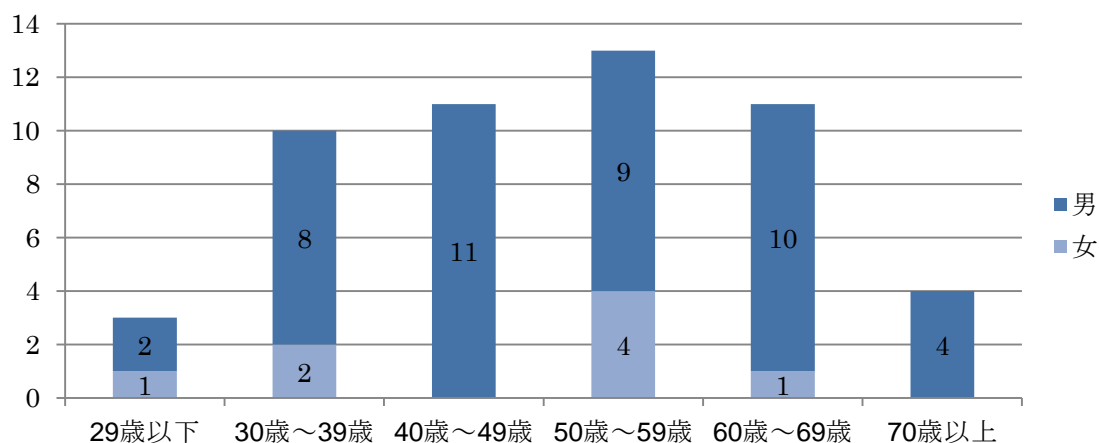
◆ 宝塚医療大学

(平成27年5月1日現在、単位：名)

	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
男	2	8	11	9	10	4	44
女	1	2	0	4	1	0	8
合計	3	10	11	13	11	4	52

年齢別大学専任教員数

(単位：名)



(3) 職階別専任教員数

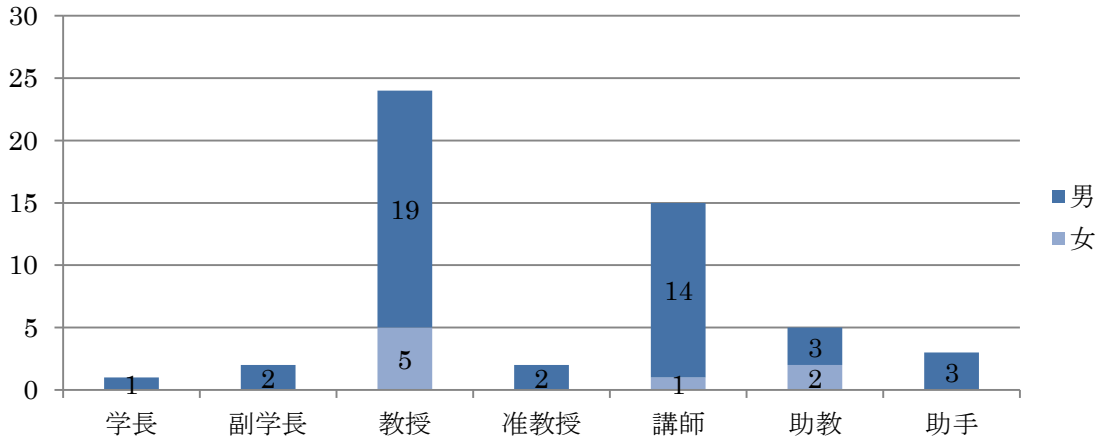
◆ 宝塚医療大学

(平成27年5月1日現在、単位：名)

	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計
男	1	2	19	2	14	3	3	44
女	0	0	5	0	1	2	0	8
合計	1	2	24	2	15	5	3	52

職階別大学専任教員数

(単位：名)



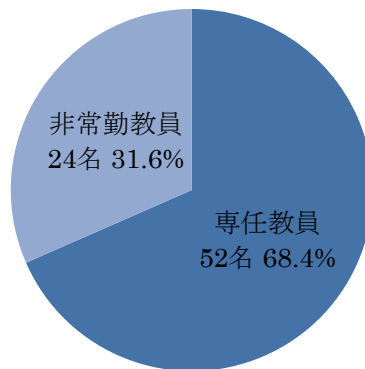
(4) 専任教員・非常勤教員比率

◆ 宝塚医療大学

(平成27年5月1日現在、単位：名)

	人数	割合
専任教員	52	68.4%
非常勤教員	24	31.6%
合計	76	100.0%

大学専任教員・非常勤教員比率



II. 事業の概要

1 基本的な方針

本学園は、教育研究体制の整備充実を図るとともに、教育内容のより一層の改善・充実や施設設備の整備等を行うことによって、多様な社会の要請に応える有為な人材の育成に努めます。また、少子高齢化の進展に伴う18歳人口の減少等の社会状況の変化に的確に対応し、学園の円滑な運営を行い今後の更なる発展を期するために、入学者の確保や経営の効率化などにより財政基盤の着実な強化を図ります。

なお、平成26年度は、平成医療学園専門学校文化・教養専門課程日本語学科が開校しました。また、宝塚医療大学が完成年度を迎え、初めて卒業生を送り出しました。

2 事業の実施状況

(1) 宝塚医療大学

① 入学者の確保

平成26年度は、兵庫県及び大阪府の高等学校への訪問体制を強化しました。一方、夏のオープンキャンパスにおいては、元プロ野球選手を招聘しての講演会、在学生による相談コーナーやトークコーナーなどを新しく取り入れ、活発で楽しく、高校生に親しみやすい雰囲気によるオープンキャンパスを実施し、入学志願者の確保に努めました。

また、昨年に引き続き九州地区の高等学校の開拓にも重点を置き、平成27年1月と2月に熊本県の高等学校において出前授業を2度実施しました。次年度以降においても積極的な広報を行うこととしています。

なお、平成26年度は、オープンキャンパスを14回、入学試験を15回実施し、理学療法学科43名(充足率107.5%)、柔道整復学科64名(充足率106.6%)、鍼灸学科27名(充足率45.0%)で、合計134名が入学しました。

② 教育の充実

設置認可時の教育課程を確実に実施しました。各教員においては、オフィスアワーの充実を図るとともに、出席が常でない学生や成績不振の学生に対しては、学生、保護者と学年担当教員との個別面談を行い、丁寧かつ的確な学生指導に努めるとともに、履修指導及び学習支援を徹底し、留年者の減少に努めています。

また、教務委員会において、到達目標、オフィスアワー、講義実施日程の項目を追加すること、成績判定基準を明確にすることについて、シラバスの記載内容を見直しました。

このほか、設置認可時の教育課程を基に、現在の医療現場のニーズに応じた内容を取り入れた授業科目の新設など教育の質の保証を視野に入れて体系的な教育課程を編成すべく検討を進めています。

③ 研究の充実

全学的な研究体制の下で、予防医学や統合医療に関する分野の研究、基礎医学系の科学的研究に取り組みました。また、研究成果発表会を4回実施し、各教員の研究に対する意識の高揚を図りました。なお、研究成果を学内外に積極的に公表するため、平成27年3月に宝塚

医療大学紀要第2号を刊行しました。

④ 国家試験対策の充実

今年度、第1期生の卒業を迎えるに当たり、各学科において国家試験対策部会を設け、定期的に対策会議を行い、模擬試験の計画・実施及び個別指導により国家試験合格レベル到達を目指し指導しました。しかし結果的には、各学科の国家試験合格率は、理学療法学科では60.6%、柔道整復学科では56.3%、鍼灸学科では50.0%となり、いずれの学科も全国平均を下回りました。

この結果を重く受け止め、来年度は各学科において、平成26年度の分析を行い、国家試験対策の内容を見直すとともに、国家試験対策を充実させます。また、既卒者のうち、国家試験不合格者に対する対策についても早急に検討し、実施します。

⑤ 就職支援の充実

キャリア教育委員会において、学生のキャリア意識の向上と就職先確保を目的とした就職支援に関する年間計画を策定し、実行しました。

具体的には、就職活動に必要な、履歴書やエントリーシートの記入方法、面接の心得、マナー等についての講習会を実施しました。また、平成26年8月23日には、病院、治療院、福祉施設など76社による就職説明会を開催し、就職活動への意識向上に努めました。この就職説明会には、4年生のみならず在学生在が多数参加しました。

そのほか、大学に送付されてくる求人情報をデータベース化し、附属図書館のパソコンから学生が自由に閲覧できるようにしました。

卒業生55名のうち、就職した者は31名（56.4%）、進学した者は2名（3.6%）、その他22名（40.0%）となりました。

就職者のうち、96%の学生が、医療・福祉に関する職業に就いており、これ以外の就職先は、一般企業（1名）、公務員（1名）、高等学校教諭（1名）となっています。

就職先が未定の者の95%が国家試験不合格者であることから、就職先の決定と国家資格取得には強い関連があることは明らかです。

キャリア教育の実施においても、求人の開拓や就職指導に加え、各学科で実施する国家試験対策との情報共有など協力体制の確立を一層進めます。

⑥ 社会貢献の充実

公益社団法人川西市シルバー人材センターの依頼を受け、本学教員による公開講演会「今日から使えるツボ刺激～健康で長生きするために～」を実施しました。

平成26年10月から平成27年2月にかけて、地域住民向けの「健康講座」（全9回）を実施し、毎回約50名の参加がありました。また、平成26年5月から6月にかけて「トライやるウィーク」事業として周辺の中学校3校から合計13名の生徒を受け入れ、地域との連携を深めました。

附属治療院においては、施術担当者や施術専門分野を治療室内に掲示し、柔道整復、鍼灸治療について、地域住民により理解されやすい環境づくりに努めました。

⑦ 大学設置認可時の留意事項への対応

大学設置認可時に付された留意事項のうち、柔道整復学科における博士（医学）取得者については平成27年4月1日付けで、整形外科学担当の専任教員（医師）については平成27年10月1日付けで採用予定です。

⑧ 大学設置・学校法人審議会大学設置分科会による実地調査（設置AC）への対応

平成26年8月11日に文部科学省大学設置・学校法人審議会大学設置分科会による実地調査があり、履行状況報告書に基づき説明聴取、質疑応答、学生インタビュー、施設設備の視察等が行われました。

平成27年2月に是正意見、改善意見等についての結果通知があり、平成27年3月に改善意見等に対する改善状況報告書を提出しました。今後、当該事項の原因や課題を分析し、教授会、理事会で対処方法を決定の上、速やかに対応します。

⑨ 認証評価への対応

学校教育法で義務付けられている大学機関別認証評価を平成29年度に受審するため、本学の教育、研究、運営の状況について整理し、準備を進めるとともに、教育、研究の状況についての自己点検・評価報告書の原案を作成し、エビデンス資料の整理と収集作業を行いました。なお、平成26年度自己点検・評価報告書は、冊子として印刷するとともに、本学ホームページにおいて平成27年9月に公開予定です。

⑩ あん摩マッサージ指圧師養成施設の新設

鍼灸学科で、既に取得可能なはり師きゅう師の国家試験受験資格に加え、あん摩マッサージ指圧師の国家試験受験資格を取得できるよう、兵庫県、近畿厚生局、文部科学省と協議を進めており、平成26年12月24日付けで兵庫県に設置計画書を提出し、受理されました。

⑪ 学校教育法の改正に伴う学則等諸規程の改正

「学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律」が平成26年6月27日に公布され、平成27年4月1日から施行されることに伴い、学長のリーダーシップの確立等のガバナンス改革の促進という改正学校教育法の趣旨に基づき、本学の学則、学部規則、教授会規則その他の諸規程の改正を行いました。

⑫ 施設設備の整備

附属図書館の図書館システムの整備及び学生用パソコンの増設を行い、学生が自習時間を有効活用できるようにしました。

学生棟には、2階にキャリアセンターを設置し、専用パソコンや事務机等を整備しました。1階には、売店をオープンし、学生が売店で飲食物や文具を購入できるようにしました。また、学生休憩スペースを整備し、学生サービスの向上を図りました。

講義棟には、新たに机、椅子を整備し、国家試験対策や自習で利用できる教室の確保に努めました。また、学生数増加に伴う実技室不足を解消するため、新たにベッドを購入し、教育環境を充実しました。

(2) 平成医療学園専門学校

① 入学者の確保

医療専門課程の学生募集については、高校新卒者を含む若年層の入学者の割合が増加し、平成27年4月の入学者数は192名、うち柔道整復師科112名（充足率74.7%）、鍼灸師科78名（充足率86.7%）、東洋療法教員養成学科2名（充足率20.0%）となり、前年度比21.2%増となりました。これは、高等学校との関係を深めるための高校訪問の充実、高校生と直接接合できるガイダンスへの参加の促進や、高等学校のスポーツ系部活動に対するスポーツトレーナーセミナーの実施などによるものであると考えています。

来年度は充足率100%を目指し、今年度に引き続き、高校生を含めた若年層の早期進路決

定傾向に対応するために高校訪問を充実させるとともに、スマートフォンの急激な普及による若年層の情報入手手段の変化に対応することにより、志願者の増加を図ります。

なお、文化・教養専門課程の日本語学科については、ベトナム、タイ、中国、インドネシア等のアジア諸国での現地日本語学校との連携が遅れており、平成27年度の入学者を確保することができませんでした。各国の日本への留学生数の増減傾向や、技能実習生等の介護分野への受入れ拡大等の変化にも対応し、現地の日本語学校との連携体制を早期に構築した上で入学者を確保したいと考えています。

② 教育の充実

職業実践専門課程の認定申請に伴い、教育課程編成委員会を設置し、統合医療への貢献が今後の我々の業界の目指す一つの方向性であることを教育の基本方針としました。その方針に従い、教員研修を充実させ、外部の医療資格者や関係団体と密に連携し、また、その要望を取り入れた教育を実践しました。

カリキュラムでは、昨年度取得した公益社団法人日本アロマ環境協会のアロマセラピーアドバイザー資格に加えてアロマセラピーインストラクター資格の認定校となりました。また、平成27年3月19日付けで、公益財団法人日本体育協会の公認スポーツ指導者養成講習会講習試験免除適応コース（共有科目Ⅰ・Ⅱ）の認定校となりました。平成27年4月には、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の公認障がい者スポーツ指導員資格取得認定校に認定される予定です。

授業では、開業している経験豊富な臨床家の下で実施する外部実習の導入や、スポーツ大会会場等でのトレーナー実習など、職業実践専門課程に求められている、企業等と連携しての実習・演習等を実施しました。

教員研修では、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団の推薦を受け、大阪大学大学院歯学研究科への専修学校研修員の派遣をはじめ、関連団体が開催する教員研修会への参加、関連学会への発表及び参加を推奨しています。また、医師・医学博士であるクリニックの院長や、プロ野球チームの元トレーナーを招き、専門分野における実務に関する教員研修会を実施しました。

③ 国家試験対策の充実

国家試験の合格率は、全国的には柔道整復師の合格率は大幅に低下しましたが、本校では柔道整復師81.8%、はり師96.2%、きゅう師96.2%となり、柔道整復師、はり師、きゅう師とも全国平均を上回り、例年通り良好な結果を維持しました。

これは、合同模擬試験委員会及び国家試験対策委員会を設置し、グループ校との合同模擬試験結果や、定期的な学内実力テストの結果を分析することにより、学習状況を継続的に把握し、教育内容に反映させていることによるものです。

今後は、各学生の修学状況を把握し、個々人に対応したより細やかな学習指導を行いたいと考えています。

④ 就職支援の充実

キャリアサポート委員会を設置し、学生の要望を個別にヒアリングする担当教職員を増員し、学生の要望に合った治療院とのマッチングを強化しました。

在学中のアルバイト先確保は資格取得後の就職活動にも繋がるものであり、卒業後の進路状況については、卒業生110名のうち81名（73.6%）が就職、9名（8.2%）が他学科等へ進学、20名（18.2%）がその他で、卒業生の大部分は就職している状況であります。

今後も、就職先・アルバイト先の斡旋については、キャリアサポート委員会の活動を充実

させることによって、関係団体等との連携を密にし、就職先・アルバイト先の選択肢を増やし、就職支援の更なる充実・強化を図っていきます。

⑤ 日本語学科の新設

平成26年度に新設した日本語学科では、進学2年コースへの入学生4名、医療福祉系1年コースへの転校生2名（平成26年10月転校受入れ）が修学し、医療福祉系1年コースの2名が卒業しました。

日本での修学に対応できる日本語能力を修得するための授業に加えて、日本の文化や慣習に触れるために、医療専門課程の学生が中心となって開催する学園祭へ日本語学科として模擬店を出店したり、学友会が主催する茶話会へ出席するなど、医療専門課程の学生との交流を積極的に行いました。

なお、進学2年コースについては、平成27年2月19日付け文部科学大臣告示により、専門士（文化・教養専門課程）の称号付与校として認められました。

⑥ あん摩マッサージ指圧師養成施設の新設

あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師を養成する学科新設を目指し、平成26年11月26日に大阪府に設置計画書を提出しました。今後、医道審議会の意見等を踏まえ、設置認可申請の準備を進める予定です。

⑦ 職業実践専門課程の認定

平成25年度の教育実績、学校評価、教育課程編成、教職員研修の実績等の内容をもって職業実践専門課程認定の申請を行い、柔道整復師科及び鍼灸師科について、平成27年2月25日付け文部科学大臣告示にて認定されました。今後、職業実践専門課程として更なる質の向上を図り、教育環境を充実していきます。

⑧ 専門実践教育訓練給付の申請

柔道整復師科及び鍼灸師科について、厚生労働省より専門実践教育訓練施設として平成26年9月24日付けで指定を受けました。受験予定者にも指定を受けた旨を告知し、受給資格者として16名が入学しました。今後、指定内容に応じた職業教育を行い、国家試験合格率及び就職率の向上に更に力を入れていきます。

⑨ 施設設備の整備

特に劣化等が進行している椅子について、整備計画に基づき、4教室分（120脚）の更新を行いました。また、各学科・学年の教室（6教室）のプロジェクターの天吊り仕様への更新や、中津第二校舎のエレベーター制御プログラムの変更による待ち時間の短縮など、学生が快適に修学できるように教育環境の改善を行いました。

そのほか、ウインドウズXPのサポート終了に伴い、新規に30台のパソコンをリースで導入し、教職員教務用パソコン及び授業用パソコンのOS環境の更新を行うとともに、IT環境の改善を行いました。

さらに、中津第一校舎及び中津第二校舎が、地域の津波災害時における緊急一時避難施設として登録されたことに伴い、南海トラフ地震防災規程を消防計画に追加し、消火ポンプの更新や火災感知器の増設など、消防設備を充実させました。

(3) 横浜医療専門学校

① 入学者の確保

高校生に対しては、積極的な高校訪問の実施及びネット媒体を通じて本校の特色等をアピールしました。中でも力を入れたのは、高校生の関心が高いスポーツトレーナー関連で、「柔整とスポーツトレーナー」と「鍼灸とスポーツトレーナー」をアピールするために、本校が業務契約を結んでいる横浜DeNAベイスターズと湘南ベルマーレのブランドを活用し、スポーツトレーナーセミナー（年6回）を実施しました。

また、鍼灸師科については、これに加えて、近年話題となっている美容鍼灸セミナーを実施して、従来の東洋医学のイメージにスポーツと美容という観点を加えてアピールしました。

一方、近年入学者が減少傾向にある社会人に対しては、「神奈川県内で唯一働きながら夜間に学べる学校」であることをアピールするとともに、教育訓練給付金制度の対象となっていること、医療系有国家資格者については本校独自の鍼灸師科夜間部特待生制度があることを積極的にPRしました。

なお、平成27年度の入学者は132名（充足率55.0%）、うち柔道整復師科88名（充足率73.3%）、鍼灸師科44名（充足率36.7%）で、昨年とほぼ同様でした。

② 教育の充実

学校内における講義・実習・実技・ゼミなどの充実に加えて、学校外における教育内容の充実を図ることを目的として、平成26年度は平成25年度に引き続き、ゼミとプロスポーツ団体の見学を実施しました。

ゼミについては、前期と後期それぞれで4コンテンツ程度を企画・実施しました。ゼミ終了後にアンケートを取り、コンテンツのより一層の充実を図るために活用しました。

また、将来スポーツトレーナーを目指す学生が様々なことを学べるように、業務契約を結んでいる横浜DeNAベイスターズと湘南ベルマーレにおいて、夏季休暇中にトレーナー業務の現場見学を実施しました。

なお、この取組によって参加した学生のモチベーションが増加していると思われるにも関わらず、見学を希望する学生は年々減少傾向にあります。そのため、平成27年度は各団体と再度協議し、見学内容をより充実したものにしていきたいと考えています。

③ 国家試験対策の充実

今年度の国家試験の合格率は、柔道整復師68.9%、はり師94.0%、きゅう師94.0%となりました。

今年度は、年4回実施している合同模擬試験の結果を基に、正答率の低かった問題をピックアップし、その後の授業で該当する範囲全てについてのフィードバックを行いました。また、次回の模試に同じ範囲での設問を出題し、フィードバックの効果を確認するという取組も行いました。

鍼灸師科においては学生の分野別での苦手科目の選別を行い、基礎医学、臨床医学、東洋医学それぞれの補習を組み、苦手科目の克服対策を積極的に行いました。

平成26年度の反省点としては、全科目を通しての成績不良者に対するアプローチが遅れてしまった事が挙げられるため、平成27年度は4月から分野別の課題を配布し、早い時期からの意識付けと、学力の強化を図っていきます。

柔道整復師科においても鍼灸師科と同様に分野別での苦手科目の選別を行い、補習授業を通して苦手科目の克服を図りましたが、平成26年度卒業生の国家試験の結果を見ると、取組が不十分であったと思われます。この結果を真摯に受け止め、平成27年度は国家試験対策の内容を根本的に見直します。

④ 就職支援の充実

本校では年1回、3年生を対象とした就職説明会を開催しています。平成26年度は11月16日に開催しましたが、自由参加にもかかわらず対象者158名中75名（柔整107名中45名、鍼灸51名中30名）が参加しました。参加治療院は、平成26年度に本校へ求人票を提出していただいたところから、地域や業態等を考慮し40社まで絞り込みました。

説明会の内容としては、まず初めに面接時の注意点や自分に合った就職先を選ぶための基準等をレクチャーし、その後、治療院ごとに分かれたブースを学生が回るという形式で行いました。学生からは「具体的な話を聞ける良い機会だった」という意見が多く、この就職説明会をきっかけに13名の学生が就職することができました。

なお、各治療院の説明時間が一定でないため、参加者によって話を聴けた治療院数に偏りがあったことから、平成27年度は改善を図る予定です。

卒業後の進路状況については、平成26年度の卒業生157名のうち就職したのは117名（74.5%）で、他学科等への進学が5名（3.2%）、その他は35名（22.3%）となっており、卒業生の大部分は就職しています。

⑤ 鍼灸師科3部制の実施

平成24年度の鍼灸師科3部制の実施から3年が経過し、平成26年度に初めての卒業生を輩出しました。昼間部については、午前の昼間1部に入学する学生が多いのに対して、午後の昼間2部に入学する学生は次第に減少傾向を示し、平成27年度は昼間2部の入学者を確保できないという状況になりました。また、夜間部の入学者数も減少傾向にあり、鍼灸師科全体で見ると3部制を実施した平成24年度には学生数が若干増えましたが、その後は横ばい傾向を示しています。

今後は、昼間2部についてはゼミの更なる充実、夜間部については平成26年度から実施した鍼灸師科夜間部特待生制度の周知徹底を図る予定です。

⑥ あん摩マッサージ指圧師養成施設の新設

「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師等に関する法律」第19条により、視覚障害者保護という名目であん摩マッサージ指圧師養成施設の新設は昭和39年度以降認められていません。しかし、現実には視覚障害者の減少と職域の拡大に伴い、視覚障害者のあん摩マッサージ指圧師免許取得者は年々減少の一途をたどっています。このような経緯から本校は、4年制のあん摩マッサージ指圧師養成施設を新設すべく、平成27年1月21日に関東信越厚生局及び神奈川県に申請を行い、受理されました。

⑦ 専門実践教育訓練給付の申請

厚生労働省の教育訓練給付制度は、労働者や離職者が自ら費用を負担して厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し修了した場合、本人がその教育訓練施設に支払った経費の一部を支給する雇用保険の給付制度です。平成26年10月から制度が拡充され、新たに専門実践教育訓練給付金が支給されることとなりました。

講座の指定申請を行った結果、当校において開講中の全学科が平成26年12月25日付けで専門実践教育訓練講座に指定され、平成27年4月入学者から対象となりました。これにより、支給要件を満たしている学生が本校を卒業した場合、給付金が支給されることとなります。

今後は、この給付制度を社会人に向けた広報活動に活用し、入学者の増加を図ります。特に、鍼灸師科夜間部特待生制度と組み合わせることで、鍼灸師科の定員確保に繋がります。

⑧ 施設設備の整備

本校では雨水による漏水トラブルが頻発していたので、平成26年度に6階などの廊下補修工事や窓周りシーリング工事、カーペット張替工事、壁面陥没部補修工事、トイレの水廻りの修理などを行いました。しかし、本校の建物は築20年以上経過しているため、今後は外壁工事を検討する必要があります。また、本校のトイレにはウォシュレットが全く設置されていないため、設置を検討しています。

(4) なにわ歯科衛生専門学校

① 入学者の確保

学生募集については、学校見学会や高等学校でのガイダンスによる学校の雰囲気や、個別に対話の機会を持つことを重視しました。また、主な対象が高校生であることから、スマートフォンやパソコンを活用した情報配信による広報活動にも力を入れました。その結果、平成27年度は、昼間部は入学定員72名に対し志願者97名、夜間部は入学定員36名に対し志願者73名となり、最終的に昼間部79名（充足率109.7%）、夜間部40名（充足率111.1%）が入学しました。

② 教育の充実

カリキュラムの中に企業からの講習や学外研修を取り入れ、俯瞰的な視野から学習できる機会を多く設けました。また、定期試験で成績が悪かった者へのフォローにも努め、特に実技試験については補講により綿密な指導を行い、学生が苦手科目を残さないようにしました。また、学生との面談の機会を定期的に設け、心身のケアにも努めました。

③ 国家試験対策の充実

国家試験については、定期的な模試や国家試験対策用のカリキュラムを取り入れ、学生それぞれの弱点を分析し指導を行いました。結果的に受験者63名中合格者は60名で、合格率は95.2%（前年度98.5%）となり、全国平均（97.1%）を下回ることとなりました。不合格者には、国家試験対策講義の聴講や模擬試験の機会を設け、次年度の合格を目指します。

④ 就職支援の充実

本校では、例年3年次の4月より就職希望のアンケートを取り、個別に就職指導を行っています。10月頃には就職希望先を決め、学生は順次採用試験に向かうこととなり、そのための指導や相談を綿密に行います。その結果、卒業後の就職状況については、卒業生63名に対して求人件数は15倍に達し、就職希望者59名に対して就職者は55名（93.2%）となりました。就職先はほとんどが一般の歯科診療所となっています。今後も、就職希望者全員が就職できるよう、学生一人ひとりに対するきめ細かい進路指導を行っていきます。

⑤ 夜間部の運営

平成26年度は、夜間部を開設して2年目となりました。昼間部より講義時間が少なくはありますが、濃密なカリキュラムを実施し、特に1期生は臨床実習（3年次4月より）に向けた仕上げの段階に達することを目標に、丁寧な実技指導を心掛けました。

⑥ 保育士養成施設の新設

保育士養成施設の新設を計画し、所轄行政との打合せの上、準備を進めました。計画段階であるため、市場のリサーチ、校舎改修、教員や実習施設の確保等を中心として、申請に係る準備作業を行いました。

⑦ 歯科センターの新設

附属の歯科センターの新設計画の策定に着手しました。本校の実習の場として活用するため、診療内容や各種の設備などを検討しています。また、より高い水準の施設とすべく、摂食嚥下、予防歯科など一般的には少ない専門的分野の診療を取り入れることも考えています。

⑧ 専門実践教育訓練給付の申請

厚生労働省の教育訓練給付制度が平成26年10月より拡充され、専門実践教育訓練給付として3年間で最大144万円の給付を受けることができるようになりました。対象となるのは勤労者や離職者で指定条件に該当する者ですが、本校ではそれらの方々にも広く受講していただき、医療従事者を目指してほしいとの趣旨から、昼間部について申請を行い、平成27年1月30日付けで指定され、平成27年度から制度を利用できることとなりました。

なお、夜間部については、卒業生輩出実績が必要であるため平成28年度に申請を行う予定です。

⑨ 施設設備の整備

施設設備については、老朽化部分を随時見直すこととし、今年度は空調機メンテナンスを実施しました。教育設備としてはオートクレーブ（高圧蒸気滅菌器）の新機種をリースで導入し、実技室の環境を整えました。

(5) 法人本部

① 役員及び評議員の改選

平成27年2月18日及び3月25日の理事会・評議員会において、平成27年3月末に任期満了となる役員及び評議員の改選について承認を得ました。

② 常任理事会の設置

平成27年1月に常任理事会を設置しました。常任理事会は、学園の日常業務のほか、理事会から付託された事項について審議・決定する機関であり、学校法人として機動的に意思決定できる体制の整備を図りました。

③ 各種規程の制定・改正

平成26年11月21日の理事会・評議員会において、「常任理事会規程」の制定、「理事会規程」、「評議員会規程」、「経理規程」、「固定資産及び物品管理規程」の改正及び「宝塚医療大学教員の定年の特例に関する申合せ」の制定、「宝塚医療大学教員定年規程」の廃止について承認を得ました。

平成27年2月18日の理事会・評議員会において、「専任教員給与規程」、「専任職員給与規程」、「非常勤者等給与規程」、「退職金規程」、「専任教職員就業規則」、「非常勤者等就業規則」、「育児・介護休業等に関する規程」の改正について承認を得ました。

平成27年3月25日の理事会・評議員会において、「宝塚医療大学教員の定年の特例に関する申合せ」の改正について承認を得ました。

④ 大学設置・学校法人審議会学校法人分科会による実地調査（法人AC）への対応

平成26年12月4日に、文部科学省の大学設置・学校法人審議会学校法人分科会による「大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査」の実地調査が実施されました。大学設置・学校法人審議会学校法人分科会の委員と文部科学省の事務官が宝塚医療大学を訪問し、認可時の留意事項の履行状況、経営の実態、施設等の整備の進捗状

況等について調査が行われました。

平成27年2月17日付けで調査結果が通知され、「今後の定員充足の在り方」、「評議員会の委任状」についての改善意見と、「評議員の出席状況」についてのその他意見を付されました。

「評議員会の委任状」と「評議員の出席状況」については既に改善済みです。「今後の定員充足の在り方」については、引き続き検討していきます。

⑤ 事務体制の整備

人事労務や私立大学等経常費補助金申請など増大する事務に対応するため、新たに職員を採用し、事務体制の整備を行いました。また、事務能力の向上を目的として、職員を外部団体の開催する研修会等に参加させました。

3 理事会・評議員会の開催状況

◆ 理事会

(平成26年度開催実績)

開催年月日	主 な 協 議 内 容
平成26年5月29日 (第1回目)	第1号議案：平成25年度決算（案）について 第2号議案：平成25年度事業報告書（案）について
平成26年5月29日 (第2回目)	第1号議案：財団法人未来産業技術研究振興財団に対する貸付金返済訴訟について 第2号議案：今後の学科設置等将来構想について 第3号議案：各学校の学生募集状況について（報告）
平成26年11月21日	第1号議案：平成26年度第一次補正予算（案）について 第2号議案：平成27年度予算編成方針（案）について 第3号議案：学校法人平成医療学園諸規程の制定及び一部改正（案）について 第4号議案：宝塚医療大学諸規程の一部改正（案）等について 第5号議案：今後の学科設置等将来構想について 第6号議案：社会福祉法人山の子会への貸付けについて（報告） 第7号議案：「平成26年度設置計画履行状況等調査」及び「平成26年度大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査」の实地調査について（報告） 第8号議案：各学校の学生募集状況について（報告） 第9号議案：その他
平成27年2月18日 (第1回目)	第1号議案：監事候補者の選出について
平成27年2月18日 (第2回目)	第1号議案：特別代理人候補の選任について 第2号議案：宝塚医療大学、平成医療学園専門学校、横浜医療専門学校及びなにも歯科衛生専門学校の学校長の選任について 第3号議案：役員を選任等について 第4号議案：学校法人平成医療学園諸規程の一部改正（案）について 第5号議案：あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師養成施設の進捗状況について（報告） 第6号議案：「平成26年度大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査」について（報告） 第7号議案：各学校の学生募集状況について（報告） 第8号議案：その他

平成27年3月25日	<p>第1号議案：平成27年度事業計画（案）について</p> <p>第2号議案：平成27年度予算（案）について</p> <p>第3号議案：評議員の選任について</p> <p>第4号議案：学校教育法の改正に伴う宝塚医療大学学則等諸規程の一部改正（案）について</p> <p>第5号議案：宝塚医療大学教員の定年の特例に関する申合せの一部改正（案）等について</p> <p>第6号議案：平成医療学園専門学校学則の一部改正（案）について</p> <p>第7号議案：「平成26年度設置計画履行状況等調査」及び「平成26年度大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査」の結果について（報告）</p> <p>第8号議案：各学校の学生募集状況について（報告）</p> <p>第9号議案：その他</p>
------------	--

◆ 評議員会

(平成26年度開催実績)

開催年月日	主 な 協 議 内 容
平成26年5月29日	<p>第1号議案：平成25年度決算（案）について</p> <p>第2号議案：平成25年度事業報告書（案）について</p> <p>第3号議案：財団法人未来産業技術研究振興財団に対する貸付金返済訴訟について</p> <p>第4号議案：今後の学科設置等将来構想について</p> <p>第5号議案：各学校の学生募集状況について（報告）</p>
平成26年11月21日	<p>第1号議案：平成26年度第一次補正予算（案）について</p> <p>第2号議案：平成27年度予算編成方針（案）について</p> <p>第3号議案：学校法人平成医療学園諸規程の制定及び一部改正（案）について</p> <p>第4号議案：宝塚医療大学諸規程の一部改正（案）等について</p> <p>第5号議案：今後の学科設置等将来構想について</p> <p>第6号議案：社会福祉法人山の子会への貸付けについて（報告）</p> <p>第7号議案：「平成26年度設置計画履行状況等調査」及び「平成26年度大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査」の現地調査について（報告）</p> <p>第8号議案：各学校の学生募集状況について（報告）</p> <p>第9号議案：その他</p>

<p>平成27年2月18日</p>	<p>第1号議案：特別代理人候補の選任について 第2号議案：宝塚医療大学、平成医療学園専門学校、横浜医療専門学校及びなほ歯科衛生専門学校の学校長の選任について 第3号議案：役員を選任等について 第4号議案：学校法人平成医療学園諸規程の一部改正（案）について 第5号議案：あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師養成施設の進捗状況について（報告） 第6号議案：「平成26年度大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査」について（報告） 第7号議案：各学校の学生募集状況について（報告） 第8号議案：その他</p>
<p>平成27年3月25日</p>	<p>第1号議案：平成27年度事業計画（案）について 第2号議案：平成27年度予算（案）について 第3号議案：評議員の選任について（報告） 第4号議案：学校教育法の改正に伴う宝塚医療大学学則等諸規程の一部改正（案）について 第5号議案：宝塚医療大学教員の定年の特例に関する申合せの一部改正（案）等について 第6号議案：平成医療学園専門学校学則の一部改正（案）について 第7号議案：「平成26年度設置計画履行状況等調査」及び「平成26年度大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査」の結果について（報告） 第8号議案：各学校の学生募集状況について（報告） 第9号議案：その他</p>

4 学位又は称号

(1) 取得可能な学位又は称号

◆ 宝塚医療大学

学部	学科	学位
保健医療学部	理学療法学科	学士（保健医療学）
	柔道整復学科	学士（保健医療学）
	鍼灸学科	学士（保健医療学）

（注）理学療法学科・柔道整復学科・鍼灸学科では、それぞれの国家試験受験資格を取得可能。

また、所定のカリキュラムを履修することにより、柔道整復学科・鍼灸学科では教員免許（高等学校教諭一種免許状（保健体育））を、理学療法学科・柔道整復学科・鍼灸学科ではアスレチック・トレーナー資格（JATAC-ATC）を取得可能。

◆ 平成医療学園専門学校

課程	学科	称号
医療専門課程	柔道整復師科	専門士（医療専門課程）
	鍼灸師科	専門士（医療専門課程）
	東洋療法教員養成学科	専門士（医療専門課程）
文化・教養専門課程	日本語学科 進学2年コース	専門士（文化・教養専門課程）

（注）柔道整復師科・鍼灸師科では、それぞれの国家試験受験資格を取得可能。

また、所定のカリキュラムを履修することにより、柔道整復師科・鍼灸師科ではアスレチック・トレーナー資格（JATAC-ATC）を、鍼灸師科ではアロマセラピーアドバイザー資格を取得可能。

東洋療法教員養成学科では、あん摩マッサージ指圧はりきゅう教員資格を取得可能。

◆ 横浜医療専門学校

課程	学科	称号
医療専門課程	柔道整復師科	専門士（医療専門課程）
	鍼灸師科	専門士（医療専門課程）

（注）柔道整復師科・鍼灸師科では、それぞれの国家試験受験資格を取得可能。

◆ なにわ歯科衛生専門学校

課程	学科	称号
医療専門課程	歯科衛生士学科	専門士（医療専門課程）

（注）歯科衛生士国家試験受験資格に加え、所定のカリキュラムを履修することにより、介護職員初任者、移動支援従業者（全身性障がい）、移動支援従業者（知的障がい）の資格を取得可能。

(2) 学位授与数及び授与率

◆ 宝塚医療大学

(平成26年度)

学科	学位授与数	卒業学年在籍者数	学位授与率
理学療法学科	33	34	97.1%
柔道整復学科	17	18	94.4%
鍼灸学科	5	5	100.0%

5 学生生徒等納付金

◆ 宝塚医療大学

(単位：円)

理学療法学科	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	300,000	—	—	—
授業料	850,000	850,000	850,000	850,000
施設管理費	400,000	400,000	400,000	400,000
実習費	250,000	250,000	300,000	300,000
合計	1,800,000	1,500,000	1,550,000	1,550,000
柔道整復学科・鍼灸学科	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	300,000	—	—	—
授業料	950,000	950,000	950,000	950,000
施設管理費	400,000	400,000	400,000	400,000
実習費	300,000	300,000	300,000	300,000
合計	1,950,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000

(注) 上記のほか、学友会費、後援会費、同窓会費、教科書代、白衣代等の諸経費が必要となります。

◆ 平成医療学園専門学校

(単位：円)

柔道整復師科・鍼灸師科	1年次	2年次	3年次
入学金	250,000	—	—
授業料	870,000	870,000	870,000
施設管理費	240,000	240,000	240,000
教材費	200,000	200,000	200,000
学友会費	50,000	—	—
合 計	1,610,000	1,310,000	1,310,000
東洋療法教員養成学科	1年次	2年次	—
入学金	500,000	—	—
授業料	600,000	600,000	—
施設管理費	200,000	200,000	—
教材費	200,000	200,000	—
学友会費	50,000	—	—
合 計	1,550,000	1,000,000	—
日本語学科 医療福祉系1年コース	1年次	—	—
入学金	100,000	—	—
授業料	620,000	—	—
合 計	720,000	—	—
日本語学科 進学1.5年コース	1年次	2年次	—
入学金	100,000	—	—
授業料	310,000	620,000	—
合 計	410,000	620,000	—
日本語学科 進学2年コース	1年次	2年次	—
入学金	100,000	—	—
授業料	620,000	620,000	—
合 計	720,000	620,000	—

(注) 上記のほか、教科書代、白衣代（医療専門課程のみ）等の諸経費が必要となります。

◆ 横浜医療専門学校

(単位：円)

柔道整復師科・鍼灸師科	1年次	2年次	3年次
入学金	240,000	—	—
授業料	840,000	840,000	840,000
施設管理費	240,000	240,000	240,000
教材費	200,000	200,000	200,000
学友会費	50,000	—	—
合 計	1,570,000	1,280,000	1,280,000

(注) 上記のほか、教科書代、白衣代等の諸経費が必要となります。

◆ なにわ歯科衛生専門学校

(単位：円)

歯科衛生士学科 昼間	1年次	2年次	3年次
入学金	100,000	—	—
授業料	640,000	640,000	640,000
実習料	160,000	160,000	160,000
教育充実費	100,000	100,000	100,000
同窓会費	20,000	—	—
合 計	1,020,000	900,000	900,000
歯科衛生士学科 夜間	1年次	2年次	3年次
入学金	50,000	—	—
授業料	590,000	590,000	590,000
実習料	160,000	160,000	160,000
教育充実費	80,000	80,000	80,000
同窓会費	20,000	—	—
合 計	900,000	830,000	830,000

(注) 上記のほか、教科書代、白衣代等の諸経費が必要となります。

6 卒業及び就職等の状況

(1) 卒業者数・就職者数・進学者数等

◆ 宝塚医療大学

(平成27年5月1日現在、単位：名)

学科	卒業者数	就職者数		進学者数	その他
		関係分野	その他分野		
理学療法学科	33	20	0	0	13
柔道整復学科	17	7	1	2	7
鍼灸学科	5	1	2	0	2
合 計	55	28	3	2	22

◆ 平成医療学園専門学校

(平成27年5月1日現在、単位：名)

学科	卒業者数	就職者数		進学者数	その他
		関係分野	その他分野		
柔道整復師科 昼間Ⅰ部	15	14	0	1	0
柔道整復師科 昼間Ⅱ部	21	14	1	1	5
柔道整復師科 夜間Ⅲ部	19	13	1	2	3
鍼灸師科 昼間Ⅰ部	10	10	0	0	0
鍼灸師科 昼間Ⅱ部	29	19	0	2	8
鍼灸師科 夜間Ⅲ部	13	7	1	1	4
東洋療法教員養成学科	1	1	0	0	0
日本語学科 医療福祉系1年コース	2	0	0	2	0
合 計	110	78	3	9	20

◆ 横浜医療専門学校

(平成27年5月1日現在、単位：名)

学科	卒業者数	就職者数		進学者数	その他
		関係分野	その他分野		
柔道整復師科 昼間	52	41	1	3	7
柔道整復師科 夜間	55	40	0	0	15
鍼灸師科 昼間	34	23	0	2	9
鍼灸師科 夜間	16	5	7	0	4
合 計	157	109	8	5	35

◆ なにわ歯科衛生専門学校

(平成27年5月1日現在、単位：名)

学科	卒業者数	就職者数		進学者数	その他
		関係分野	その他分野		
歯科衛生士学科 昼間	63	55	0	0	8

- (注1) 「就職者数（関係分野）」とは、卒業者が当該大学・専門学校に在学した学科の専門分野と同等又は関連のある分野の職業に就いた場合をいう。
- (注2) 「就職者数（その他分野）」とは、上記「就職者数（関係分野）」以外で、当該大学・専門学校で履修した学科とは直接関係のない分野に就職した者をいう。
- (注3) 「就職者」とは、「正規の職員・従業員・自営業主等」又は「正規の職員ではない者のうち雇用契約が1年以上かつフルタイム勤務相当の者」をいう。
- (注4) 在学中既に職に就いている者で、卒業後も引き続きその職にある場合は「就職者」に含める。

(2) 主な就職先

◆ 宝塚医療大学

(平成27年5月1日現在)

学科	主な就職先
理学療法学科	宝塚リハビリテーション病院、野瀬病院、八幡中央病院 神戸マリナーズ厚生会病院、関西リハビリテーション病 院、社会福祉法人愛仁会、東住吉森本病院、鶴見緑地病院、 園田病院、須崎くろしお病院、友愛会病院
柔道整復学科	ゆたかクリニック、げんき堂整骨院、整形外科ひろクリニ ック、陸上自衛隊
鍼灸学科	大島ふくしま整骨院、山本プラスチック工業所、星翔高等 学校

7 国家試験の受験状況

◆ 宝塚医療大学

(平成26年度新規卒業者)

学科	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
理学療法士国家試験	33	20	60.6%	89.1%
柔道整復師国家試験	16	9	56.3%	80.8%
はり師国家試験	2	1	50.0%	90.6%
きゅう師国家試験	2	1	50.0%	90.8%

◆ 平成医療学園専門学校

(平成26年度新規卒業者)

学科	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
柔道整復師国家試験	55	45	81.8%	80.8%
はり師国家試験	52	50	96.2%	90.6%
きゅう師国家試験	52	50	96.2%	90.8%

◆ 横浜医療専門学校

(平成26年度新規卒業者)

学科	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
柔道整復師国家試験	106	73	68.9%	80.8%
はり師国家試験	50	47	94.0%	90.6%
きゅう師国家試験	50	47	94.0%	90.8%

◆ なにわ歯科衛生専門学校

(平成26年度新規卒業者)

学科	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
歯科衛生士国家試験	63	60	95.2%	97.1%

8 退学者数・除籍者数・留年者数・中退率

(1) 退学者数

◆ 宝塚医療大学

(平成26年度、単位：名)

学科	退学者数				
	1年	2年	3年	4年	計
理学療法学科	1	4	4	0	9
柔道整復学科	2	3	1	0	6
鍼灸学科	1	1	0	0	2
合 計	4	8	5	0	17

(2) 除籍者数

◆ 宝塚医療大学

(平成26年度、単位：名)

学科	除籍者数				
	1年	2年	3年	4年	計
理学療法学科	0	0	0	0	0
柔道整復学科	1	4	2	1	8
鍼灸学科	0	0	0	0	0
合 計	1	4	2	1	8

(3) 留年者数

◆ 宝塚医療大学

(平成26年度、単位：名)

学科	留年者数				
	1年	2年	3年	4年	計
理学療法学科	0	8	9	1	18
柔道整復学科	0	4	1	0	5
鍼灸学科	2	2	0	0	4
合 計	2	14	10	1	27

(4) 中退率

◆ 宝塚医療大学

(平成26年度中の退学・除籍者数／平成26年5月1日現在の在籍者数)

学科	中退率			
	1年	2年	3年	4年
理学療法学科	1.9%	8.2%	8.3%	0.0%
柔道整復学科	4.8%	11.7%	5.3%	5.6%
鍼灸学科	6.7%	7.1%	0.0%	0.0%
合 計	3.8%	9.8%	5.4%	1.8%

9 社会人学生・留学生・海外派遣学生数

(1) 社会人学生数

◆ 宝塚医療大学

(平成27年5月1日現在、単位：名)

学科	社会人学生数
理学療法学科	1
柔道整復学科	4
鍼灸学科	0
合 計	5

(注) 「社会人」とは、職に就いている者、すなわち、給料、賃金、報酬その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いている者をいう。また、企業等を退職した者及び主婦等も含む。

(2) 留学生数

◆ 宝塚医療大学

該当者なし。

(3) 海外派遣学生数

◆ 宝塚医療大学

該当者なし。

III. 財務の概要

1 学校法人会計基準

◆ 学校法人とは

学校法人とは、私立学校の設置を目的として、私立学校法の定めるところにより設立される法人をいいます（私立学校法第3条）。学校法人は、学校法人会計基準で定めるところに従って会計処理を行い、計算書類を作成しなければならないとされています。

◆ 学校法人会計基準の特徴

学校法人は、一般の企業のように利益の追求を目的とするものではありません。学校法人は、教育研究活動を目的としていますが、収入と支出のバランスが取れなければ学校運営を維持することはできません。そのため、学校法人会計の目的は、設置運営する大学等の永続的維持、発展と教育研究活動の円滑な遂行です。同時に、経常費補助金に係る予算の適切な執行が求められます。

学校法人の収入の大半は、自由に増額することが困難な学生生徒等納付金です。また、教育研究活動の維持発展のための支出を削減することが難しい点があります。そこで、学校法人の経営状況及び財政状態を的確に把握するため、学校法人会計基準に基づき計算書類を作成する必要があります。

◆ 学校法人会計と企業会計の違い

企業が利益の追求を目的としているのに対し、学校法人は教育研究活動を目的としています。企業会計が計算書類からその経営成績を知ることが目的であるのに対し、学校法人会計は計算書類によって安定的、継続的に教育研究活動が行われているか否かを知ることが目的です。

学校法人の事業は、基本的に非営利事業です。そのため、収益事業を目的とした一般事業会社のように利益を得ることが目的とはなっていないことから、一定の制限の下に認められる収益事業を除き、企業会計における損益計算は適用されません。

2 各科目の説明

◆ 資金収支計算書の科目（収入の部）

科 目	説 明
学生生徒等納付金収入	教育研究活動の対価としての性質を有し、在学条件として義務的かつ一律に納付させる授業料、実験実習料や、学生生徒等を就学させるに当たって義務的かつ一律に納付させる入学金など。
手数料収入	特定の用役の提供に当たって受益者から徴収する手数料。入学検定料、試験料、証明手数料収入など。
寄付金収入	金銭その他の資産を寄贈者から贈与されたもので、補助金収入としないもの。
補助金収入	国又は地方公共団体から交付される助成金。日本私立学校振興・共済事業団やこれに準ずる団体からの助成金を含む。

資産運用収入	学校法人の所有する諸資産の運用の結果生じた収入で、事業収入に含まれないもの。有価証券の購入費、預金等の受取利息など。
資産売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却収入。不動産売却収入、有価証券売却収入など。
事業収入	補助活動事業（食堂、売店、スクールバスなど）、附属事業（病院、農場、研究所等附属機関など）、受託事業（外部から委託を受けて行う試験、研究等の事業）、収益事業（寄附行為に規定し、所轄庁によって認可されている収益事業）などからの収入。
雑収入	学生生徒等納付金収入から事業収入までの各収入に含まれない収入で、固定資産に含まれない物品の売却収入その他学校法人に帰属する収入。
借入金等収入	金融機関等から借り入れた資金。
前受金収入	翌会計年度以後の諸活動に対応する収入を当該会計年度において資金収入したもの。
その他の収入	学生生徒等納付金収入から前受金収入までの各収入科目に含まれない収入。積み立ててきた特定資産から繰り入れた収入や、前会計年度末における未収入金の当該会計年度における収入など。
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入のうち、資金の収入が当年度中に行われず、前年度又は翌年度に行われる収入項目に対応する勘定。
前年度繰越支払資金	前年度から繰り越した支払資金。

◆ 資金収支計算書の科目（支出の部）

科 目	説 明
人件費支出	教職員等に支給する人件費。教員人件費支出、職員人件費支出、役員報酬支出、退職金支出など。
教育研究経費支出	教育研究のために支出する経費。消耗品費支出、光熱水費支出、旅費交通費支出など。
管理経費支出	教育研究経費以外の経費。消耗品費支出、光熱水費支出、旅費交通費支出など。
借入金等利息支出	借入金及び学校債に係る利息支出。
借入金等返済支出	借入金及び学校債に係る返済支出。
施設関係支出	学校法人がその諸活動に使用する目的で取得する土地、建物、構築物、建設仮勘定等、固定して設置する固定資産に係る支出。
設備関係支出	学校法人がその諸活動に使用する目的で取得する教育研究用機器備品、その他の機器備品、図書、車輛等の設備又は電話加入権等の設備の利用に係る権利に係る支出。
資産運用支出	学校法人の資産運用目的による資金支出。
その他の支出	人件費支出から資産運用支出までの各科目に含まれない支出。当年度内に支払義務が確定しているが、年度末に未払いとなったもの（期末未払金）や、当年度に属する経費を前年度以前に前払いしたもの（前期末未払金）など。
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対応する支出のうち、資金の支出が当年度中に行われず、前年度又は翌年度に行われる支出項目に対応する勘定。
次年度繰越支払資金	翌年度へ繰り越される支払資金。

◆ 消費収支計算書の科目（収入の部）

収入の部	説 明
帰属収入	全ての収入のうち、学校法人の負債（前受金、借入金など）とならない収入。
消費収入	当該会計年度の帰属収入を計算し、当該帰属収入の額から定められて基本金に組み入れる額を控除して計算された額。（帰属収入－基本金組入額＝消費収入）

◆ 消費収支計算書の科目（支出の部）

科 目	説 明
徴収不能引当金繰入額（徴収不能額）	未収入金に徴収不能のおそれがある場合、徴収不能見込額を消費支出に計上。
当年度消費収入（支出）超過額	消費収入の部合計から消費支出の部合計を控除した収支差額。
前年度繰越消費収入（支出）超過額	前年度から当年度に繰り越された過去からの消費収入（支出）超過額の累積額。
翌年度繰越消費収入（支出）超過額	翌年度に繰り越される当年度消費収入（支出）超過額と前年度繰越消費収入（支出）超過額との合計。
消費支出	当該会計年度において消費する資産の取得価額及び当該会計年度における用役の対価に基づいて計算する額。（消費収入－消費支出＝当年度消費収入超過額）

本学園の財政運営に当たっては、経営の安定を図るとともに、健全な学園運営を行うために、学生生徒等納付金などの収入の確保と支出の削減を図り、経営の合理化・効率化に努めているところです。

本学園の平成26年度の決算は、以下のようになりました。

◆ 消費収支計算書の予算対比について

帰属収入は、50,512千円の減となりました。主な内訳は、学生生徒等納付金61,137千円の減、手数料2,521千円の増、寄付金1,026千円の減、補助金3,713千円の増、資産運用収入2,525千円の増、事業収入4,000千円の増、雑収入等1,108千円の減です。学生生徒等納付金減の大きな要因は、学生の休学・退学・除籍によるものです。

消費支出については、人件費60,995千円の減、教育研究経費7,964千円の増、管理経費45,450千円の減、徴収不能引当金繰入額等で24,175千円の増となりました。人件費と管理経費の節約に努めたことにより、全体としては74,306千円の減となりました。

基本金組入額に関しては160,092千円の減となりました。

結果として、消費収入超過額は183,886千円の増となり、予算を達成することができました。

◆ 消費収支計算書の前年度対比について

消費収入（支出）超過額は、前年度の33,131千円から82,799千円となり49,668千円増加しています。

帰属収入は2,214,944千円で、前年度より4.7%の増となりました。主な内訳は、学生生徒等納付金2,128,933千円（5.6%増）、手数料23,867千円（6.6%減）、寄付金224千円（92.2%減）です。学生生徒等納付金の増加は、宝塚医療大学及びなほ歯科衛生専門学校の学年進行等によるものです。

一方、消費支出は2,089,237千円で、前年度より0.3%の増となりました。主な内訳は、人件費1,293,705千円（4.7%増）、教育研究経費502,000千円（7.9%増）及び管理経費231,857千円（0.2%増）です。人件費と教育研究経費合わせて5.6%の増になりましたが、全体としては6,545千円で、若干の増額で収まっています。

◆ 本学園の総資産額は、前年度より153,127千円増加し、8,869,038千円となっています。

4 資金収支計算書

(単位：千円)

科 目		平成26年度	平成25年度	平成24年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,128,933	2,016,830	1,811,212
	手数料収入	23,867	25,565	23,617
	寄付金収入	224	2,223	20,340
	補助金収入	26,853	26,096	24,636
	資産運用収入	5,575	17,188	5,338
	資産売却収入	5,016	150,000	0
	事業収入	26,000	23,974	26,371
	雑収入	3,476	3,314	1,710
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	1,107,126	968,711	824,020
	その他の収入	428,777	510,997	444,556
	資金収入調整勘定	△ 976,884	△ 834,723	△ 735,963
	前年度繰越支払資金	1,761,754	1,482,246	1,356,136
収入の部合計		4,540,717	4,392,421	3,801,973
支出の部	人件費支出	1,284,730	1,229,074	1,171,914
	教育研究経費支出	347,165	309,439	270,453
	管理経費支出	222,462	224,199	207,162
	借入金等利息支出	27,252	30,658	31,314
	借入金等返済支出	111,372	116,467	111,372
	施設関係支出	2,962	147,639	3,900
	設備関係支出	15,102	48,791	88,176
	資産運用支出	4,423	54,653	106,050
	その他の支出	811,108	528,751	370,601
	資金支出調整勘定	△ 48,467	△ 59,004	△ 41,215
	次年度繰越支払資金	1,762,608	1,761,754	1,482,246
支出の部合計		4,540,717	4,392,421	3,801,973

5 消費収支計算書

(単位：千円)

科 目		平成26年度	平成25年度	平成24年度
収入の部	学生生徒等納付金	2,128,933	2,016,830	1,811,212
	手数料	23,867	25,565	23,617
	寄付金	224	2,856	20,340
	補助金	26,853	26,096	24,636
	資産運用収入	5,575	17,188	5,338
	資産売却差額	16	0	0
	事業収入	26,000	23,974	26,371
	雑収入	3,476	3,314	56,610
	帰属収入合計	2,214,944	2,115,823	1,968,124
	基本金組入額合計	△ 42,908	0	△ 205,248
消費収入の部合計		2,172,036	2,115,823	1,762,876
支出の部	人件費	1,293,705	1,235,795	1,174,506
	教育研究経費	502,000	465,129	419,907
	管理経費	231,857	231,369	214,054
	借入金等利息	27,252	30,658	31,314
	資産処分差額	214	104,611	410
	徴収不能額	34,209	15,130	33,870
消費支出の部合計		2,089,237	2,082,692	1,874,061
当年度消費収入（支出）超過額		82,799	33,131	△ 111,185

6 貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	6,932,026	6,780,014	152,012
有形固定資産	6,308,983	6,456,651	△ 147,668
その他の固定資産	623,043	323,363	299,680
流動資産	1,937,012	1,935,897	1,115
資産の部合計	8,869,038	8,715,911	153,127
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,503,062	1,606,782	△ 103,720
流動負債	1,283,351	1,152,210	131,141
負債の部合計	2,786,413	2,758,992	27,421
基 本 金 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	6,048,612	6,005,704	42,908
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	137,622	137,622	0
基本金の部合計	6,186,234	6,143,326	42,908
消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	△ 103,609	△ 186,407	82,798
消費収支差額の部合計	△ 103,609	△ 186,407	82,798
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び 消費収支差額の部合計	8,869,038	8,715,911	153,127

7 基本金

基本金の種類は、以下の4つに分類されています。

① 第1号基本金

学校法人が設立当初に取得した固定資産の価額又は新たな学校の設置や既設の学校の規模の拡大、教育の充実向上のために取得した固定資産の価額

② 第2号基本金

将来の固定資産の取得に充てるために、事前に計画的・段階的に積み立てる金銭等の資産の額

③ 第3号基本金

奨学基金、研究基金等の基金として継続的に保持・運用する金銭等の資産の額

④ 第4号基本金

恒常的に保持すべき資金として文部科学大臣が定める額

平成26年度（平成27年3月31日決算）は、第1号基本金下記のとおり組み入れられました。

（単位：千円）

第1号基本金（今年度増減）	
土地	0
建物	0
構築物	2,962
教育研究機器備品	△ 41,234
その他機器備品	△ 9,373
教具	△ 5,420
図書（除却高）	852
車両運搬具	0
ソフトウェア	648
借入金返済に伴う組入高	83,652
未払金支払による組入高	10,821
合 計	42,908

基 本 金	
前期繰越高	6,143,326
第1号基本金	6,005,704
第4号基本金	137,622
当期組入高	42,908
第1号基本金	42,908
当期末残高	6,186,234
第1号基本金	6,048,612
第4号基本金	137,622

8 財産目録

(単位：千円)

科 目	平成26年度末	
一 資産額		
(一) 基本財産	6,932,026	
1 土地		
(1) 宝塚医療大学 校地	48,715.00㎡	452,000
(2) 法人本部用地	147.12㎡	88,272
(3) 平成医療学園専門学校 第一校舎校地	582.70㎡	98,403
(4) 平成医療学園専門学校 第二校舎校地	663.19㎡	228,219
(5) なにわ歯科衛生専門学校 校地	474.99㎡	282,720
(6) 横浜医療専門学校 校地	910.18㎡	526,920
(7) 運動場用地	347.38㎡	170,000
計	51,840.56㎡	1,846,534
2 建物		
(1) 宝塚医療大学 校舎	4,759.97㎡	806,729
(2) 宝塚医療大学 講義室棟	4,439.63㎡	545,355
(3) 宝塚医療大学 屋内体育施設	1,504.44㎡	193,201
(4) 宝塚医療大学 学生棟	1,305.58㎡	201,605
(5) 宝塚医療大学 守衛室	8.41㎡	4,338
(6) 法人本部棟	869.07㎡	47,882
(7) 看板		1,730
(8) 平成医療学園専門学校 第一校舎	1,709.51㎡	239,204
(9) 平成医療学園専門学校 第二校舎	2,002.50㎡	527,888
(10) なにわ歯科衛生専門学校 校舎	2,438.25㎡	447,312
(11) 横浜医療専門学校 校舎	4,830.02㎡	994,635
計	23,867.38㎡	4,009,879
3 構築物		40,828
4 図書	22,071冊	109,204
5 教具・校具及び備品	8,455点	299,193
6 機械装置		2,092
7 車輛		1,252
8 ソフトウェア		6,818
9 保証金・敷金		27,692
10 有価証券		36,766
11 長期貸付金		531,333
12 積立金		20,413
13 出資金		1
14 預託金		21

(二) 運用財産		1,937,012
1 預金・現金		1,762,608
(1) 現金		4,099
(2) 普通預金		1,703,497
(3) 定期預金		55,012
2 有価証券(流動)		150,000
3 短期貸付金・立替金・預け金		8,877
4 不動産		0
5 貯蔵品		0
6 未収金		8,173
7 前払金		7,354
(三) 収益事業用財産		0
合 計		8,869,038
二 負債額		
1 固定負債		1,503,062
(1) 長期借入金		1,433,859
商工中金		286,540
紀陽銀行		359,090
池田泉州銀行		143,575
りそな銀行		352,726
りそな銀行		291,928
(2) 退職給与引当金		65,344
(3) 長期未払金		3,859
2 流動負債		1,283,351
(1) 短期借入金		111,372
(2) 前受金		1,107,126
(3) 未払金		42,597
(4) 預り金		22,256
合 計		2,786,413
三 借用財産		
1 土地	25.64㎡	601
2 建物	0.00㎡	0
合 計		601

9 主な財務比率

比率名	算式 (×100)	評価	比率
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	低い方が良い	58.4%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	低い方が良い	60.8%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	高い方が良い	22.7%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	低い方が良い	10.5%
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	低い方が良い	1.2%
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	高い方が良い	5.7%
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	低い方が良い	96.2%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	どちらとも いえない	96.1%
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	高い方が良い	0.01%
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	高い方が良い	1.2%
減価償却費比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$	どちらとも いえない	7.9%

10 施設設備の整備状況

平成26年度の主な施設設備の整備状況については、以下のとおりです。

宝塚医療大学では、図書館システムの整備及び学生用パソコンの増設、キャリアセンターのパソコン及び事務机、講義棟の机、椅子及び実技室のベッドの整備、学生休憩スペースの整備を行いました。

平成医療学園専門学校では、椅子の整備、プロジェクターの天吊り仕様への更新、パソコンのリースでの導入及びOS環境の更新、消防設備の更新を行いました。

横浜医療専門学校では、廊下補修工事、窓周りシーリング工事、カーペット張替工事、壁面陥没部補修工事、トイレの水廻りの修理を行いました。

なにわ歯科衛生専門学校では、オートクレーブ（高圧蒸気滅菌器）のリースでの導入を行いました。

法人本部では、事務用パソコンの増設、公用車のレンタルリースでの導入を行いました。